

# シリーズ 第77回 人権



## こころの懸け橋

私が大学生のとき、同じ講義を受講している学生の中に、Aさんというパキスタン出身の留学生がいました。今でこそ、外国人を津市内で見掛けることは珍しいことではありませんが、当時は珍しかったように記憶しています。

Aさんと話をする機会があったので、「日本での生活に苦労することはありますか？」と英語で尋ねてみました。すると、私が英語で話し掛けたにも関わらず、日本語で答えが返ってきました。Aさんは真剣なまなざしで「同じ人間なのに、外国人が日本のルールに外れたことをすると、全ての外国人がルールに外れたことをすると思われる。だから自分は日本人以上に日本のルールを守る。そして、日本人から話し掛けられたときに日本語で答えることができるよう、常に勉強している」と言いました。他にも、“外国人だから”という理由で、ごみ出しの時に「分別していないだろう」と言われたことがあり、その悔しさを我慢しているとも話してくれました。

当時、一部の外国人がごみを分別しないことが社会問題になっていました。Aさんは“日本人以上に日本のルールを守る”ことや日本語でコミュニケーションをとれるよう勉強することで、日本人が外国人に対して持つイメージを少しでも良くしたかったのだと思います。

先日のテレビで、外国人に対する差別のニュースが取り上げられていました。私は、

これはとても恐ろしいことだと思います。なぜ、国籍が違うだけで、相手の全てを否定してしまうのでしょうか。外国人をひとくくりにして否定する考え方は、国際化・グローバル化とは逆の方向に進んでいるような気がしてなりません。

Aさんは、日本語を勉強して、日本人と日本語でコミュニケーションを図ることができましたが、誰にでもまねできることではありません。日本で暮らしていても日本語を話せない外国人はたくさんいます。

相互理解のためには、外国人だから、日本語が話せないからと先入観を持たずに、相手を一人の人間として尊重し、対等に接していくことが大切ではないのだろうか、私は思います。

(40代・男性)

## 人権豆知識

### 知っていますか？ 世界人権宣言

国連で、世界人権宣言が「すべての人民にとって達成すべき共通の基準」として採択されてから、2018年12月で70周年を迎えます。

人権は全ての人の権利です。私たち一人一人が、お互いの個性を認め合い、自分の人権だけでなく、相手の人権についても大切にしていかなければなりません。